

みなかみ

議会 だより

第11号

平成20年5月1日発行
(2008年)

群馬県利根郡みなかみ町

だいほう

大峰神社春祭り

(小仁田地区)



定例議会 (平成20年3月6～14日)

…2

平成20年度予算 一般会計・特別会計 2

平成19年度補正予算 一般会計・特別会計 5

町政を問う 一般質問7人 6

まちづくり基本条例の制定 11

総文・厚生・産観
常任委員会 視察報告 12

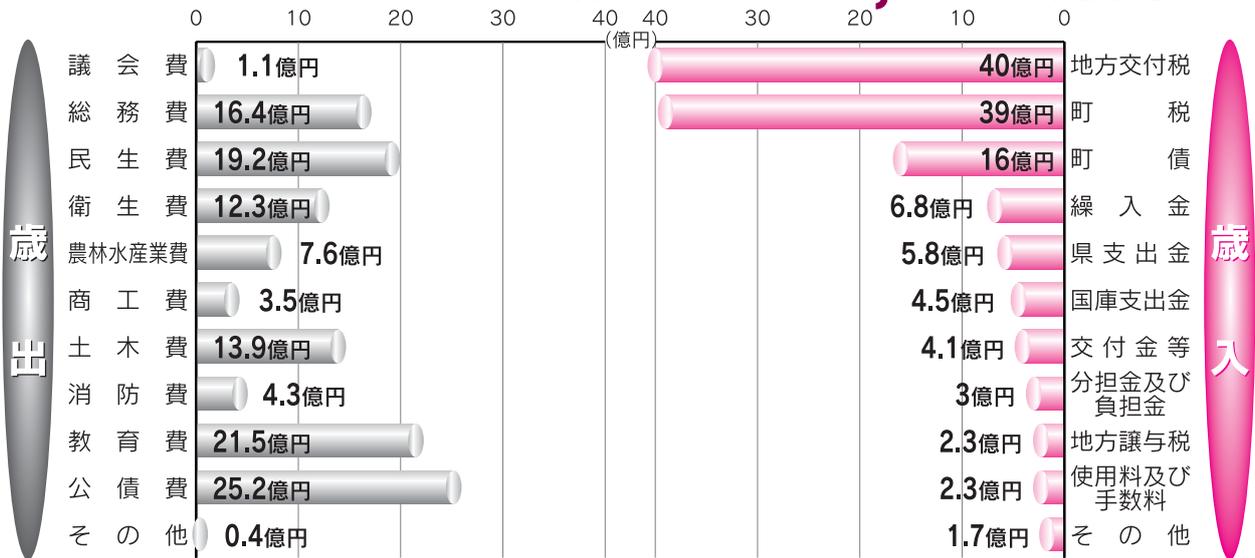
議会の動き 15

3月 定例議会

6日から14日までの9日間の会期で開催されました。
 20年度一般会計・特別会計当初予算12件、19年度補正予算9件、条例
 改廃・制定32件、訴訟2件、契約締結2件、委員会発議1件、その他議案
 8件が提出され、審議の結果、すべての議案を原案通り可決しました。
 7人の議員が、『少子高齢化』『水道料金』『分譲地売却』『医療制度』『森林
 整備』『地域振興』等について、一般質問しました。

平成20年度 当初予算

一般会計／総額125億5,000万円



特別会計



賛成 阿部賢一議員
 福祉や教育予算の優先的確保と、町債繰上償還も措置されており、観光振興や交流施策、都市計画事業等、夢のあるまち

賛成 島崎栄一議員
 土地開発公社理事長を副町長が兼任すれば、敬老バスカードを二千元にするための財源三〇〇万円は確保できます。予算修正すべきです。

反対 原澤良輝議員
 高利率の繰上返還、スクールバス無料化、中学生卒業まで医療費無料化は評価しますが、うららの郷利子負担、後期高齢者医療制度の負担金・繰入支出には反対です。
 (賛成多数可決)

賛成 国民健康保険特別会計 穂刈清一議員
 所得状況に関係なく、保険料の一年以上滞納世帯に資格証明書発行を義務づくりへ期待します。

反対 島崎栄一議員
 土地開発公社理事長を副町長が兼任すれば、敬老バスカードを二千元にするための財源三〇〇万円は確保できます。予算修正すべきです。

◆ 一般会計

討論

務づけた本制度に反対です。

賛成 鈴木幸久議員

医療水準の確保と誰もが医療を受けられる内容となっており、今まで以上の健全運営をお願いします。

(賛成多数可決)

◇老人保健特別会計

反対 穂苅清一議員

七〇歳以上は一割負担で済む老人保険法を三月で廃止し、七十五歳以上は後期高齢者医療保険に移行してしまうことは許せません。

賛成 高橋市郎議員

国の医療制度改正による一カ月間のみの予算で、適正な予算と考えます。

(賛成多数可決)

◇後期高齢者医療特別会計

反対 穂苅清一議員

保険料を年金から天引きするなど医療費の負担

増につながらる後期高齢者医療制度の導入に反対します。

賛成 鈴木 勲議員

給付と負担の関係が明確となり、健全運営と、高齢者の健康保持・増進に貢献することを期待します。

(賛成多数可決)

◇介護保険特別会計

反対 穂苅清一議員

後期高齢者医療制度に重ね、保険料を年金から天引きする制度には賛同できません。

賛成 山田庄一議員

給付と、介護予防事業に重点をおいた取組みが盛り込まれ、適正予算と考えます。社会の功労者である高齢者に元気に長生きをしていただきたいと思えます。

(賛成多数可決)

◇簡易水道事業特別会計

反対 原澤良輝議員

町民生活に直接影響する水道料金の基本部分は無料にすべきです。多額の借金と地方債に頼った繰入運営には反対です。

賛成 河合生博議員

低利借換や、施設の老朽化・水質悪化等による改良の整備を現在進めています。効率運営と安全な水の安定供給を要望します。

(賛成多数可決)

◇下水道事業特別会計

反対 原澤良輝議員

繰上返還は評価しますが、地方債残高が多額で返済元金が減少しません。一般会計からの繰入もありますが、独立会計自体に無理があります。

賛成 阿部賢一議員

町民が文化的な生活をおくるため必要不可欠な事業であり、水源の町と

して早期に普及促進をお願いいたします。

(賛成多数可決)

◇水道事業会計

反対 原澤良輝議員

債権放棄、一般会計からの繰入など、多額の未収金の問題解決へ、抜本的な対策が必要です。

賛成 前田善成議員

未収入金の内容や種類の調査を行い、公正証書等の債権回収の方法を用い、不納欠損金にさせない予算配慮を期待します。

(賛成多数可決)

※以下は全会一致で可決

◇利根沼田広域観光センター特別会計

◇自家用有償バス特別会計

◇スキー場事業特別会計

◇温泉事業特別会計

このように決まりました。

議案

の確保にも寄与します。

(賛成多数可決)

●町国民健康保険条例の一部改正

反対 穂苅清一議員

年金から保険料を天引きする条例改正であること、また、新制度の導入について説明が十分ではありません。

賛成 河合幸雄議員

納付書発行の経費節減や、滞納者の減少につながるメリットがあります。

(賛成多数可決)

●町福祉医療費の支給に関する条例の一部改正

賛成 原澤良輝議員

通院・入院ともに中学卒業まで医療費無料化を求めます。(現在十二歳誕生日まで入院無料)

(全会一致可決)

反対 原澤良輝議員

町民に厳しく徴税して、儲けている企業の税金を免除するという本条例には反対です。

賛成 高橋市郎議員

企業誘致や雇用と税収

●**町立学校施設使用条例の一部改正**

反対

穂苅清一議員

反対の声がたくさん上がった須川・猿ヶ京小学校の廃校、また新しい統合小学校開校に反対します。

賛成

林 一彦議員

四月には開校します。この時期での統合反対は、住民ならびに児童たちを不安に陥れるだけです。前向きな理解を願います。

あるだけで支給を停止しています。

賛成

鈴木幸久議員

行政は公平・公正でなければならず、町民は義務を遂行しなければなりません。

(賛成多数可決)

反対

原澤良輝議員

滞納問題の解決は、懲罰的な方法ではなく、個々の生活相談に応じながら解決すべきです。

賛成

鈴木幸久議員

町民も、新しい施設を使用できること、また新しい小学校へ児童が通うことを大変楽しみにしています。

(賛成多数可決)

●**町出産祝金支給条例の一部改正**

反対

原澤良輝議員

税金を滞納していても「出産日に未納」が

の政策を、農家に負わせるような改正に反対です。

賛成

林 一彦議員

町税及び保険料、分担金等の料金は、通常の生活を営むうえで重い負担にならない程度の額に設定されています。

(賛成多数可決)

反対

原澤良輝議員

信頼される行政という観点に立ち返り、墓地の条例にしても、儂い条例にしてしまつては何にもなりません。

賛成

鈴木幸久議員

信頼される行政という観点に立ち返り、墓地の条例にしても、儂い条例にしてしまつては何にもなりません。

(賛成多数可決)

●**町農業特別対策資金金融通措置条例の一部改正**

反対

原澤良輝議員

町の借金のツケと農民いじめの輸出大企業優先

町の融資滞納者には断固とした対策をとるべきです。

賛成

鈴木 勲議員

町有墓地条例と同じ理由です。

(賛成多数可決)

反対

原澤良輝議員

町有墓地条例と同じ理由です。

賛成

山田庄一議員

町営住宅入居者の適正な審査と、住民が公平な負担で生活できる管理運営を望みます。

(賛成多数可決)

●**町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正**

行政は公平・公正でなければならず、滞納を許すことは住民秩序が保たれません。

反対

原澤良輝議員

町営住宅管理条例と同じ理由です。

賛成

小野章一議員

公共賃貸住宅の管理運営は適正に行われなくて

はならないのが原則です。(賛成多数可決)

反対

原澤良輝議員

町有墓地条例と同じ理由です。

賛成

鈴木 勲議員

完納した者に対して貸付するもので、やむを得ない処置です。

賛成

鈴木 勲議員

完納した者に対して貸付するもので、やむを得ない処置です。

(賛成多数可決)

●**町営住宅の明渡し及び滞納家賃等の支払い請求①**

反対

穂苅清一議員

入居者の生活や職業を考慮し、連帯保証人を含め三者で話し合うべきで、衣食住の住を失わない方法を求めます。

(賛成多数可決)

●**町営住宅の明渡し及び滞納家賃等の支払い請求②**

反対

穂苅清一議員

指名競争入札では不明瞭な指名と考えます。

滞納を長期間放置せず、各種滞納を含めた相談窓口体制を確立して解決すべきです。

賛成

河合幸雄議員

今後十年間のまちづくりの基本計画であり、策定までに地区座談会などが開催され、夢のあるまちづくりに期待ができません。

(賛成多数可決)

反対

原澤良輝議員

物件費・補助費・人件費のみの削減や、課の縮小によるサービス低下など、多額の公債費の原因究明と反省が必要です。

賛成

原澤良輝議員

物件費・補助費・人件費のみの削減や、課の縮小によるサービス低下など、多額の公債費の原因究明と反省が必要です。

賛成

河合幸雄議員

今後十年間のまちづくりの基本計画であり、策定までに地区座談会などが開催され、夢のあるまちづくりに期待ができません。

(賛成多数可決)

●**平成十九年度まちづくり交付金事業諏訪峡遊歩道整備工事の請負契約の締結**

反対

穂苅清一議員

指名競争入札では不明瞭な指名と考えます。

反対

穂苅清一議員

指名競争入札では不明瞭な指名と考えます。

入札制度を改善し、一般競争入札とすべきです。

賛成

鈴木幸久議員

地元観光業者等の要望でもあり、諏訪峡の落石撤去を早期にし、水上観光を盛り上げるため賛成します。

(賛成多数可決)

※以下は賛成多数で可決(討論なし)

- 町足湯の設置及び管理に関する条例の制定
- 町山岳資料館条例の一部改正
- 町道路占用料徴収条例の一部改正
- 町公共物使用等に関する条例の一部改正
- 平成十九年度まちづくり交付金事業主要地方道沼田水上線無散水消雪設置工事の請負契約の締結
- 町簡易水道事業特別会計の水道料金債権の放棄
- 町水道事業会計の水道料金債権の放棄

※以下は全会一致で可決

- 町低開発地域工業開発地区指定に伴う町税(固定資産税)の課税免除の特例に関する条例の廃止
- 町農村地域工業等導入地区における町税(固定資産税)の課税の特例に関する条例の廃止
- 町介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正
- 町集落水辺環境施設越公園条例の一部改正
- 町雲越家休憩施設条例の一部改正
- 町種畜貸付譲渡基金条例の一部改正
- 町火葬場条例の一部改正
- 町簡易水道事業の設置に関する条例の一部改正
- 町水道事業の設置等に関する条例の一部改正
- 町スクールバスの設置に関する条例の制定
- 町奨学基金条例の一部改正
- 町学童クラブ設置及び運営に関する条例の一部改正

部改正

●町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

●町浄化槽の清掃業に関する条例の一部改正

●町職員給与に関する条例の一部改正

●町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例の一部改正

●町道路線廃止

●町道路線認定

●指定管理者の指定

●交流センター・太助の郷

●産地形成促進施設・月夜野はーべすと

●真沢ファーム交流施設

●まちづくり基本条例の制定

※関連記事11頁(賛成多数可決)

発議(委員会)

補正予算

◇一般会計

反対

原澤良輝議員

「高齢者への負担増は生存権を脅かす」との批

判のある、後期高齢者医療広域連合への支出が計上されています。

賛成

前田善成議員

老人保健特別会計への繰入金、原油高による維持管理費、用水補修工事

等、町民生活に直結した予算です。(賛成多数可決)

◇国民健康保険特別会計

反対

原澤良輝議員

国の支出削減政策に問題があるので、国庫支出金の回復を国に働きかけるよう要望します。

賛成

小野章一議員

療養給付費が増額補正されていますが、誰もが安心して医療を受けるための補正で、被保険者への努力が見られます。(賛成多数可決)

◇簡易水道事業特別会計
◇水道事業会計 (賛成多数可決)

◇老人保健特別会計
◇介護保険特別会計
◇下水道事業特別会計
◇スキー場事業特別会計
◇温泉事業特別会計 (全会一致可決)

19年度補正予算(3月補正)

項目	補正額	主な内容	総額
一般会計	1億6,745万2千円	減債基金積立金/2億円 老人保健特別会計繰入金/3,893万5千円 包括支援センター費/▲620万円 塵芥処理処分費/1,345万円 中山間地域総合整備事業/▲300万円 都市計画総務費/2,378万円 高等学校費/▲3,083万2千円	131億 8,870万6千円
特別会計	国民健康保険	保険給付費(療養諸費)/2億508万8千円 など	28億5,497万8千円
	老人保健	医療給付費/▲1億1千万円 など	27億890万4千円
	介護保険	介護予防事業費/▲616万8千円 など	17億3,457万3千円
	簡易水道	簡易水道総務費/▲238万7千円 など	2億9,845万8千円
	下水道	公債費(借換元金)/▲1億9,160万円 など	15億2,016万8千円
	スキー場事業	スキー場事業費/▲544万円 など	1,579万5千円
	水道事業	収益的	水道使用料/▲1,320万円 など
資本的		過年度損益修正損/9,215万3千円 など	3億8,383万6千円
収入		繰上償還借換債/▲4,140万円 など	2億4,790万1千円
支出		繰上償還償還金/▲4,137万7千円 など	3億2,903万9千円

島崎 栄一議員

水道料金は そのまま 据え置きしよう

町長 事業継続には
計画的値上げが必要

問 水道は家庭にも商売
にも欠かせない重要
なものです。水道料はよ
く議論して慎重に決めな
ければなりません。
一トン一〇〇円の水道
料を平成二十四年に一五
〇円に値上げする計画に
は、多くの疑問がありま
す。

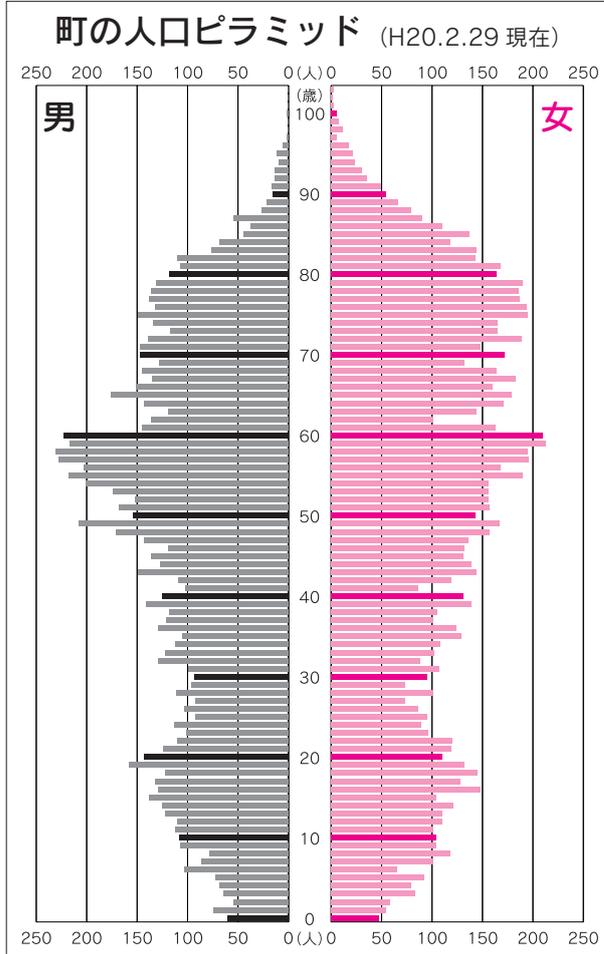
利根沼田の水道料は、
一トン当たり沼田市は一
二〇〇円、片品村は一〇〇
円、川場村は六〇円、昭
和村は四五円です。新
治・月夜野の一〇〇円は、
まずまず妥当な値段です。
給水原価は一〇〇円で
あり、無理してあげる理
由はありません。もし、

一五〇円に値上げするな
ら、水上地区では六年連
続の値上げとなつてしま
います。いくら何でも、
これでは住民が可哀想で
す。商売をしている人達
の経営も圧迫します。
水源の町を名乗るみな
かみ町が、利根沼田で最
も高い水道料になること

人口減少と少子化に どう向き合うのか

町長 企業誘致等で定住化を図る

林
喜美雄議員



問 当町も合併後、一千
人超の人口減少を見
ております。都市と地方
の格差の拡大の中で、多
くの地方がこの問題を直

視しなければならぬ時
代になりました。
今、「働く場を増して欲
しい」「若い世代が残る
町にして欲しい」という

町民の強い要望がありま
す。企業誘致等の進捗状
況を含めて、人口減少問
題への対応についてお伺
いします。

また、少子化に当たつ
て、教育長にもお伺いし
ます。
答 **町長** 人口減少は、
先進国の宿命とも言
うべき問題です。
魅力ある町づくりが必
要で、『みなかみ』らしさを
創ることであり、観
光・農業を始めとする各
種産業を活性化し、定住
化の促進を図ることが重
要と考えています。
企業誘致活動の結果は、
食品製造企業が約五軒、
地下水、上下水道完備を
条件とした引き合いがあ
り、今月中に回答をいた
だけの予定です。

答 **教育長** 放課後の子
どもたちを対象とし
た学童保育や、新治地区
の認定子ども園の設置等
順次改善を重ね、少子化
に対応した施策を考えて
います。
問 国の施策で、少子化
対策のネットワーク
化が図られると聞いてい
ますが。
答 **学校教育課長** 県へ
通達が来ている段階
で、今後の取り組みにつ
いては検討していきます。

「うららの郷」の 早期売却に努力を

鈴木

勲
議員

町長 販促活動中、価格改定も視野に

問 うららの郷は、七十五区画あるうちの二十五区画しか売却されていません。土地開発公社は借金が七億八千万円、利子補給は七七八万円で、今後も増大が懸念されます。早期売却が得策と思われませんが。

答 **町長** うららの郷の資料請求等は、十八年が二十八件、十九年が四十六件で、ホームページの閲覧は十九年度が一萬三千四二七件でありました。現在、活動地域を東京・埼玉まで拡大し、実施しています。
上毛高原駅周辺の整



安全な水を供給する(上牧浄水場)



歩行者専用道路が新たに整備されたうららの郷

備・観光客数の増加策と、新幹線通勤の拡大策を、県・JRや関係機関と協議し、販売促進の取組み

の中で、価格の見直しが必要であれば検討もしなければと考えています。

答 **町長** 町としては、町民に対して安い料
も不名誉なことです。水道料は一トン一〇円のまま据え置きましよう。豊富にある水土地地区の水源を上手く利用するなど、コスト削減で経営を改善しましょう。

金で給水したいのは山々ですが、運営上からは様々な問題を抱えているのが現実です。
島崎議員の言う一〇円で水道会計のシミュレーションをすると、老朽施設等の改善をしなければ、平成二十七年度までに、一時借入金一億五

千万円の返済はできません。しかし、累積赤字は四億九千万円になることが予測されます。
従って、水道事業を恒久的に継続するには、計画的に値上げをしなければならぬと考えています。

■水源地域ビジョン 下流域交流と玉原道路が重要

問 当町は広大な森林と利根川の源流として、藤原ダムを始めとする須田貝・矢木沢・奈良俣・相俣の五つのダムが、首都圏約二七〇〇万人の生命・経済活動を支えています。下流自治体と協議・交流することが得策と思われませんが。

れるよう、町長の考えを伺います。

答 **町長** 当町は五つのダムがあり、その貯水量は三億七五〇〇万トンで、首都圏の水瓶です。環境整備等を含める中で、下流との交流を図っていきたい。
玉原道路についても、望郷ラインを延長し、藤原に抜けるよう努力したいと考えています。
住民の安心安全を図ら

原沢 良輝 議員

入れ歯回収ボックス 設置しては

町長 協会と相談したい

問 入れ歯を回収し、国連児童基金（ユニセフ）に寄付すると、入れ歯一個で毛布なら八枚、予防注射なら二五〇人分、貧困に苦しむ世界の子供たちを援助できます。また、社会福祉協議会などに同額を寄付しています。町も「回収ボックス」設

置をしてはどうでしょうか。

答 町でも世界の子ども達の救援、地球環境保護等のため、回収ボックスの設置について、入れ歯リサイクル協会と相談したい。



入れ歯の回収で途上国援助に貢献できる
※現在は未設置

■災害復旧助成 少額であっても 実施すべき

問 農地など固定資産税を納めており、少額でも助成をすべきです。

答 町長 国基準の降雨等災害は、四〇万円未満でも実施が可能です。

■町事業と労働条件

公契約条例で労働者の保護を

問 税金を使う行政によつてワーキングプアが作られるのは許されないことです。

賃金のワーキングプアを作らせない責任があります。

町の発注する工事、指定管理者の導入、給食センターの民間委託など、町が事業者との間で結ぶ契約には、人間らしく働くことのできる「労働条件」を確保する公契約条例を定める必要があります。町は臨時職員の雇用を含め「税金を使って低

答 町長 公契約条例は、公共機関が発注する事業で悪質なピンハネなどを規制し、サービスの維持、経営安定、経済振興を図ります。条例制定に向けて検討している自治体もあり、町としても今後、検討したい。

穂苅 清一 議員

お年寄りいじめの 長寿医療制度 凍結・廃止すべき

町長 負担等が公平・明確に
高齢者差別ではない

問 四月からの長寿医療制度（後期高齢者医療制度）は、老人保健法が廃止され「高齢者の医療の確保に関する法律」により実施されようとしています。七十五歳以上が対象で全国千三百万人です。

四月からの長寿医療制度（後期高齢者医療制度）は、老人保健法が廃止され「高齢者の医療の確保に関する法律」により実施されようとしています。七十五歳以上が対象で全国千三百万人です。保険料は新たに一人ひとりの年金から天引きされ、滞納すれば保険証が取り上げられます。七十五歳という年齢差別はお年寄りいじめではないですか。

答 町長 高齢化により老人医療費が増大する中で、現役世代との費

■財政健全化法

三セクの監視強化があるべき方向

問 二年後施行の自治体財政健全化法では、連結の実質公債費比率や、新たに第三セクターや公社を含めた将来負担比率が加わります。国も市町村に対して、第三セク

ターへの外部監査による点検強化や、情報公開を行うことを求めています。当然のことと思いますがどう考えていますか。

水源の保全・活用へ『森林整備隊』組織を

速水 一浩 議員

町長 町宣言に基づき取り組みたい

問 組織と財源については、どのように考えますか。

答 町長 「水と森林防人宣言」をシンボルにして、今後の町づくりをしっかりとやっていきたい。

問 水源の保全・活用へ森林整備隊を組織することで、間伐や植林ができ、防災・水源涵養・環境・観光等に寄与し、首都圏二千九百万人の生命の水瓶を有する「みなかみ町」にとって、非常に大事な意義があると思いますが。

答 町長 実現のため、流域自治体との交流により関係強化を図っており、本年度は本町において利根川サミットの開

問 構想は素晴らしいと思いますが、森林整備は本町にとって緊急の課題であり、現実的な組織と財源が必要ではないでしょうか。

答 町長 組織は、利根川流域の住民、二千九百万人でNPOを組織し、年間の運営費は、流域住民一人一〇円、合計二億九千万円で賄うことを提案します。



森林組合による間伐作業

問 現実的な財源として、「森林環境税」は、本町のような国有林が大部分を占める自治体にとって、国税とすべきと考えますが。

答 町長 基本的には賛成ですが、現在実施

問 今後の参考にしたい。

答 町長 京都議定書目標達成計画に義務化された地方公共団体の実行計画の策定において、本日の議論をぜひ盛り込んで下さい。

問 間伐材の利用については、木質ペレット（バイオマス※）に力を入れるべきと考えますが。

答 町長 間伐材の利用については、木質ペレット（バイオマス※）に力を入れるべきと考えますが。

長寿医療制度とは

(後期高齢者医療制度)

〇七十五歳以上の方が加入する独立した健康保険です。
 ☆一定以上の障害のある方の場合、六十五歳から加入できます。
 〇これまで加入されていた各健康保険を脱退し、長寿医療制度への加入となります。
 ☆これまで扶養になっていた方も対象です。
 〇医療機関等で支払う自己負担については変更はありません。



【長寿医療制度の財源】

高齢者の保険料 1割	公費 (約5割)
若年者の保険料 約4割	国:県:市町村 =4:1:1

※医療機関で支払う自己負担分を除く
 問合せ専用電話 ☎0570-002299
 ※市内通話程度の料金がかかります
 ※IP電話・PHSからはご利用になれません

用負担や財政運営の責任を明確化し、公平で分かりやすくする国の医療制度で、なら差別するものではありません。

基礎課税額が二つに分かれますが、基本的に負担が増加するものではないと考えます。

答 町長 町には対象の法人が六法人あり、町の調査権や監査権が認められていますが、業務委託を理由に経営内容の報告を求めることはできません。

連結赤字比率には第三セクターや公社の収支は含まれませんが、将来は

これらの借金がプラスされるので、債務負担行為残高の縮減と損失補償は行わない方針です。

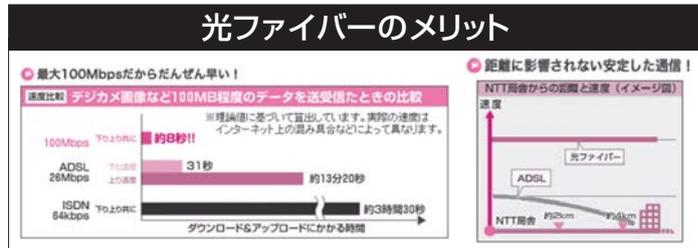
第三セクターへの監査体制などの経営上の細かなことを逐一指導監査をすることは、自主性を尊重する上でも好ましくないと考えます。

※ バイオマス=エネルギー源として再利用できる、動植物から生まれた資源のこと。生物資源(bio)の量(mass)を表す。

前田 善成 議員

ダムの光回線活用し 通信基地でアピールを

総合政策課長 事業化前向きに検討



問 当町と交流のある都市を、観光だけでなく、沖縄のように光ファイバーや地震に強い特性を活かしたコールセン

ターやデータベースの誘致先にしたり、行政が中心となり情報管理する考えがあるでしょうか。

答 **町長** 行政中心であった都市との交流を住民交流にして、地域活性化に期待したい。バックオフィス構想※は、地盤の研究結果を見て今後の対応を考えます。

問 ダムの光ケーブルを使用して、地域活性化につながるよう総務省のプランを使い、大学との連携で研究企業を募り、高速通信基地として当町をセールスして下さい。

答 **総合政策課長** 産・学・官で取り組み、ダム等のケーブルを使用し、前向きに検討し事業化したい。

■水道会計 未収入金の発生にどう対応するか

問 水道会計は原内ワースト1です。多額の欠損金の発生要因である未収入金の対応について伺います。

とにより水道料金に反映されています。未収入金も利益もワースト1で、他町村に比べ一時借入金一・五億円を見ても分かりますが、料金の値上げ等で経営を立て直したい。

答 **町長** 不能欠損は料金徴収が出来ないこ

問 危機管理の一つとして、未収入金の内容確認と格付けをし、プラス資産からマイナス資産にならないように調査し、判決と同じ効力を持つ公正証書などを活用して下さい。

答 **上下水道課長** 未収入金は二年で時効、不能欠損金となり、債権放棄しているのが現状です。来年から生じるので、厳しい姿勢で大口の方々の徴収をしていきたい。

※ バックオフィス構想=都市部におかれる本社をフロントオフィスというのに対し、本社の管理機能をサポートするための情報処理・研究開発等をする施設をバックオフィスという。バックオフィス構想とは、近い将来予測される大都市地震に備え、安全な地域に企業のデータを保管するなど、バックオフィス機能を企業誘致し、地域活性化を図る構想。

みなさんからの 請願・陳情 審査結果一覧

No.	受理年月日	件名	提出者	付託委員会	審議結果	
請願	1	20. 2.13	小川区内、町道小川～森原線 (T-209)の融雪対策	小川区長 阿部孝吉	産業観光	趣旨採択
	2	20. 2.21	月夜野わんぱくクラブ (学童保育所) 施設拡充	月夜野わんぱくクラブ保護者会 会長 曾慶健一 ほか1,065人	総務文教	採 択
陳情	1	20. 2. 6	県道水上～戸倉線・町道粟沢～西線の渋滞・危険箇所の改良工事及び玉原トンネル促進	藤原上区長 浅岡秀行 藤原中区長 熊木 葵 藤原下区長 林 治光 玉原越道路促進協議会長 影山喜作	産業観光	採 択

みなかみ町まちづくり基本条例 を制定しました！

◇平成20年4月1日より施行

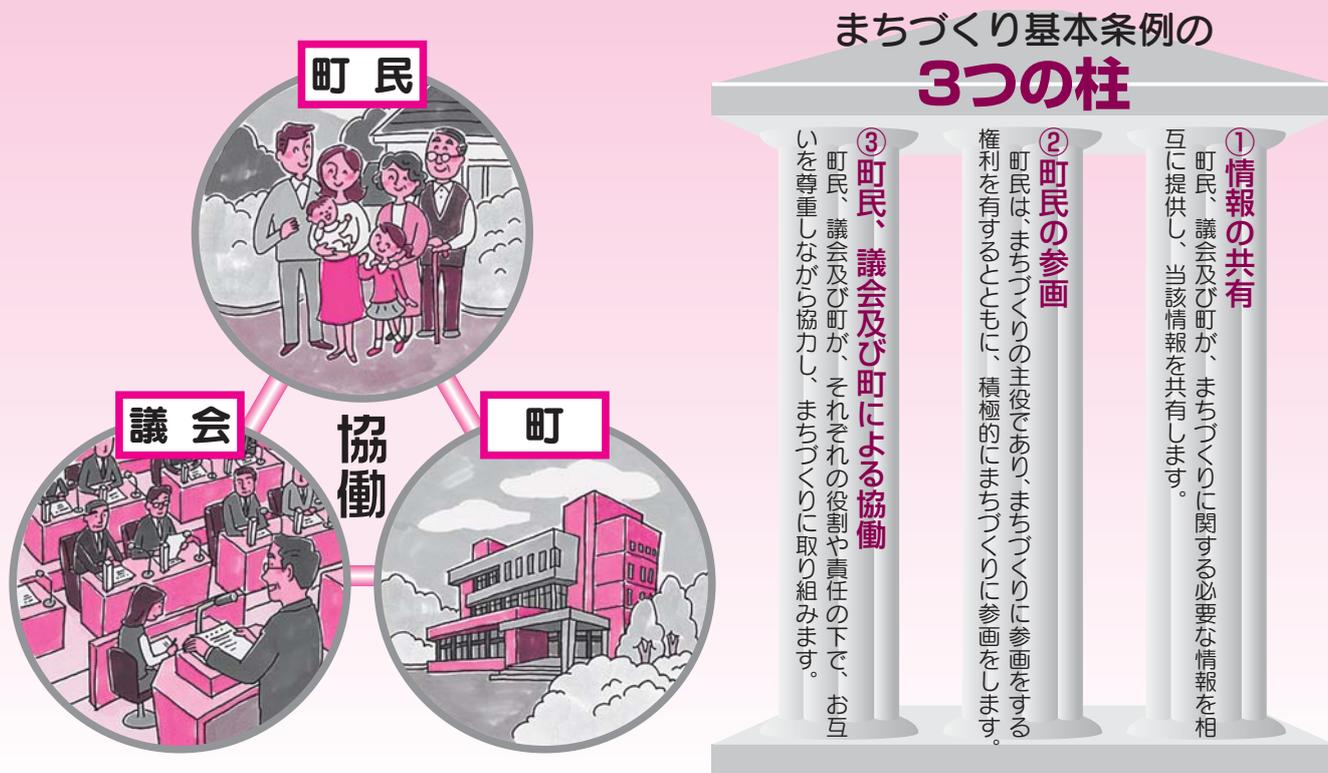
◇3月14日、総務文教常任委員会発議として提出し可決されました。

みんなで育てる条例

まちづくり基本条例を制定したからといって、すぐに私たちの暮らしが劇的に変わることはありません。

条例を制定しただけでは何も変わりませんので、みんなで育てていく条例と位置付け、町民、議会及び町が力を合わせまちづくりを推進することが重要です。

今後のまちづくりについて、情報共有の仕組みづくりや町民参画と協働によるまちづくりのシステム等をみんなで考え、つくり上げていくことが大切です。



◎みなかみ町の新しいまちづくり(自治)が始まります！

みなかみ町は、谷川連峰に抱かれ、利根川の清流と実り豊かな田園が広がる美しいまちです。わたしたちは、この美しい自然と共生しながら、うるおいや生きがいを感じ、自助・互助・扶助の精神に基づく心豊かな生活を送ることができる希望のあふれるまちを創造します。

そして、「このまちに生まれてきて良かった」「このまちにずっと住みたいね」こんな言葉が飛び交う素晴らしいまちをみんなで力を合わせて築いていきたいと思います。

みなかみ町まちづくり基本条例は、町民の方々がまちづくりへ積極的に参画をするとともに、協働のまちづくりを実現する第一歩として制定するものです。

厚生

燃料化加工工場 (茨城県・関商店)
ゴミの資源化 (栃木県・野木町)

2/26 報告：委員長 中村 正

古河市(関商店)は、みなかみ町のアメニティ施設で作られたRDF(※注1)を処理し、廃プラ・古紙等を混合して、固形燃料RPF(※注2)を製造する会社です。

燃料化加工工場
関商店

昭和十四年三月に開業以来、着実に業績を上げ、RPFを年間六万五千トン製造しており、業界で占める割合は一〇%を超えています。

石油に代わり、当町のゴミが製紙会社等の燃料として活用され、安全に処理されていることを確認できました。

ゴミの資源化

野木町

野木町は栃木県最南端、面積三〇・二五km²(旧月夜野町の約半分)、人口二五、八七八人と当町と同規模です。財政は予算

総額五九億七七〇万円と当町の半分以下で、駅周辺の区画整理・宅地開発・工業団地造成による企業誘致など、都市化進展に伴い急激な人口増加傾向がみられます。

※1 RDF (Refuse Derived Fuel) =可燃ごみを粉碎、粒度調整、成形固化等の加工により製造した固形燃料。

総務文教

地域特性を活かした公社経営

(岩手県・社団法人 葛巻町畜産開発公社)

2/6-7

報告：委員長 根津公安



牧場内の木質チップ利用バイオマス発電施設

葛巻町人口は八千人、面積の九割を山林が占め、基幹産業は林業と酪農で約一万三千頭の乳牛が飼育されています。畜産開発公社運営の「くづまき高原牧場」は、広さ三五〇

畝、他にも七〇〇畝の牧場、牛乳工場・チーズ工場や宿泊施設があり、酪農体験・観光で訪れる人は年間三〇万人を超えます。売上は約一二億円、従業員数約一〇〇人、八年前から黒字になっています。売上の八割を占めるのは、全国から約二六〇〇頭(生後三〜四ヶ月)の子牛を一日五〇〇円で預かる預託牛で、残り二割は乳製品など特産品販売や宿泊関係です。

また葛巻高原牧場には、一七五〇キロワットの風車を一五基設置、年間五四〇〇万キロワット発電しています。これは町の年間消費電力の二倍に相当し、余剰電力は東北電力に販売し、法人税として、約四千万円が町の収入になっています。

また葛巻中学校で太陽光発電を導入しているのははじめ、牛糞メタンガス利用のバイオマス(※P9参照) バスプラント発電や、木質チップ利用のバイオマス熱電力供給システムの導入、木材皮

原料の木質ペレットを南部鉄ストープ(家庭用暖房)の燃料として活用し効果を上げており、みなかみ町においても木質ペレットストープの普及等検討したいと思いましたが、特産品の山葡萄を原料とした「くづまきワイン」は、農林家所得の向上と地域産業の創出を目的として第三セクターを設立



(社)葛巻町畜産振興公社「くづまき交流館プラター」にて

産業観光

温泉の集中管理（静岡県・修善寺温泉） リサイクルセンターの運営

（静岡県・富士丘第一堆肥生産センター利用組合）

2/18-19 報告：委員長 久保秀雄



圧送ポンプ、4方向に送る。



貯湯送はコンピュータ管理されている

修善寺温泉は、昭和十二年以降、温泉乱掘・増掘競争によって自噴掘の枯渇や温度減少してしまい、昭和二十五年、修善寺温泉事業協同組合が結成されました。しかし、その後も枯渇が進行、三十一年以降、掘削は総て集中管理に移行し開発が

◆温泉の集中管理 修善寺温泉

進められました。その後、昭和五十〜五十五年、総工費約四億五千万円で温泉集中管理施設が建設され、五十六年六月より営業開始、温泉街の上下流域に各第一・二タンクを有し循環させ、七八軒に温泉を供給しています。

集中管理に至るまで、①借地掘削した温泉と地主との関係、②温泉供給範囲、③配給管路線の決定、④温泉源の評価など、解決困難な課題もありま

◆リサイクルセンターの運営 堆肥センター

富士丘第一堆肥生産センター利用組合（以下、堆肥センター）は、六軒の酪農家が約四〇〇頭の

観光産業、農業を取り巻く環境は、激動のなかであり、時代の流れを先取りした、コスト削減のための様々な情報収集が急務であることを痛感しました。

運営は温泉利用料を主として、総て組合独自で運営されています。利用方法は温泉かけ流し・循環があり、利用者の判断に委ねられています。猿ヶ京温泉集中管理第二タンクの修理方法も詳しく視察でき、民間移行への指導も得られました。

牛糞処理をしており、当町資源リサイクルセンター（利用農家六軒、約四〇〇頭）と同規模です。施設は、建設・費用返済とも利用者六人で、運営は堆肥センター長一人で管理し、売上げから運営管理に必要な経費を差引き、残り総て堆肥センター長への報酬とするという、堆肥センター長に大きな権限と責任を持たせ運営しています。

分調整剤として利用しコストを抑えています。当町資源リサイクルセンターは、検討委員会を立ち上げ、効率的な運営検討を重ねていますが、水分未処理の牛糞の水分調整剤に多量のオガコを使用しており、搾水機（水分を搾る機械…一台約四五〇万円）の導入も経費削減のための選択肢の一つと感じました。



町で RDF 処理されたゴミは、関商店で RPF に加工され企業の燃料になる

みなかみ町回収ゴミの行方



※企業で燃料として使用後に出る RPF の燃えカス（灰）も道路のセメントやアスファルトの材料として最後まで使われている。



堆肥完成まで 90 日間の熟成期間が必要

料です。家庭からの排出方法は生ゴミの水切りをしつかり行い、新聞紙二枚以下で包み指定紙袋に入れ、付属の麻ひもで縛り指定日・場所に排出。回収ゴミは、資源化センターで破袋、袋は RD

F にされ、生ゴミは三ヶ月の熟成を経て堆肥化され、町民に無料配布されます。野木町は一流の田舎町（人間的にも文化的にも一流であること）を目指しており、ゴミをもう一度、資源として活用し、地球にやさしい高度な文

化を根付かせようと長年の努力を積み重ねた結果が、今の野木町のブランドとなっています。当町も生ゴミの水切り徹底と、ゴミ分別による資源化を促進することで、ゴミ処理経費の削減と節税に大きく貢献できます。

※2 RPF (Refuse Paper & Plastic Fuel) = 古紙及びプラスチックを原料とした固形燃料。事業ごみ由来で不純物が少ないため、RDF と比べ品質が安定している。

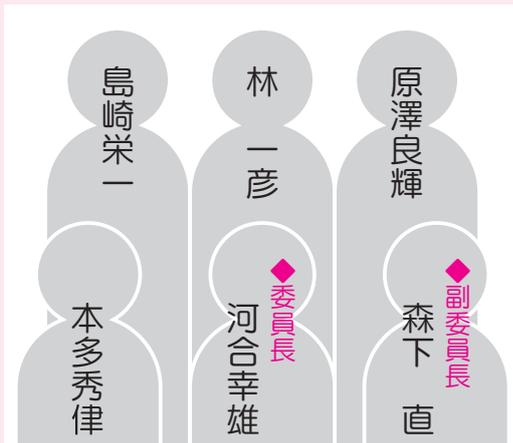
ごあいさつ 議会だより編集委員会



編集作業風景

いつも「みなかみ議会だより」をご覧いただきありがとうございます。二年という節目を迎え、今後も議会の内容と町政のあり方、そして、みなかみ町まちづくり基本条例をご理解頂き、町民の皆様にご覧いただき、読んでいただける議会だよりを心がけていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

編集委員会メンバー



人事異動



(事務局長)
阿部 正

四月一日付けで、議会議務局長、係長が異動いたしました。新しい事務局長は、次の方です。よろしくお願ひします。

議員表彰

※議員一〇年表彰
(群馬県町村議会議長会)

傳田 創司議長



議会の動き

*平成20年2月～4月

2月	1(金)	町身体障害者福祉団体連合会新年会
	3(日)	茂左衛門地蔵尊節分会 市兵衛地蔵尊節分会
	4(月)	町文化協会新年会 利根沼田交通関係団体役員新年会 山梨県増穂町議会視察来庁
	6(水)	総務文教常任委員会県外視察(～7日、岩手県)
	8(金)	三峰の湯現状説明会
	12(火)	町章・町花等検討委員会
	13(水)	広域圏議員協議会 広域圏定例議長会 利根沼田学校組合議会協議会 町自治基本条例策定委員会 香川県綾川町議会視察来町
	14(木)	川場村総務大臣表彰受賞記念式典 第6回日韓青少年冬季スポーツ交流事業送別会
	18(月)	産業観光常任委員会県外視察(～19日、静岡県)
	20(水)	県町村議会議長会定期総会 町自治基本条例提言の提出
	21(木)	茨城県鉾田市議会視察来庁 小口資金融資審査会 公共施設統廃合等検討委員会
	22(金)	議会全員協議会(予算内示会)
24(日)	群馬県中学校新人スキー大会開会式 チャリティー芸能大会 水上小学校建設基本設計コンペ選定委員会	
25(月)	広域圏組合議会定例会 利根沼田学校組合議会定例会	
26(火)	厚生常任委員会県外視察(茨城県・栃木県)	
27(水)	総務常任委員会 産業観光常任委員会 議会全員協議会	
28(木)	議会運営委員会	

3月	3(月)	総務文教常任委員会 利根商業高等学校卒業式 沼田交通警察モニター協議会定例会
	4(火)	相俣・奥利根ダム水源地域ビジョン推進・支援協議合同会議
	6(木)	第2回みなかみ町3月定例議会(開会日)
	7(金)	第2回みなかみ町3月定例議会(一般質問) 猿ヶ京小学校閉校式
	9(日)	湯掛曾雪像祭り
	10(月)	第2回みなかみ町3月定例議会(各常任委員会)
	13(木)	中学校卒業式(各中学校)
	14(金)	第2回みなかみ町3月定例議会(閉会日)
18(火)	若栗幼稚園卒園式	

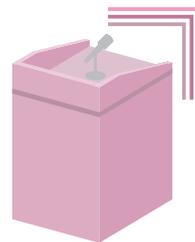
3月	20(木)	茂左衛門地蔵尊奉納弓道大会 少年剣道錬成大会
	21(金)	幼稚園卒園式(月夜野北・にいはる) ぬまた聖苑焼骨灰供養
	22(土)	新巻小学校閉校式
	24(月)	幼稚園卒園式(なぐるみ・月夜野・下牧)
	25(火)	小学校卒業式(各小学校) 公共施設統廃合等検討委員会 町自治基本条例策定委員会
	26(水)	須川小学校閉校式 土地開発公社理事会
	27(木)	保育園卒園式(月夜野) タニガワビバレッジ竣工式 JAPANブランド育成支援事業委員会 例月出納検査
	28(金)	保育園卒園式(第1・第2・第3・にいはる) 議会だより編集委員会
	29(土)	第25回全国都市緑化ぐんまフェア開会式

4月	1(火)	教職員辞令交付式
	4(金)	新治小学校開校式 保育園入園式(第1・第2・第3)
	5(土)	保育園入園式(にいはる・月夜野)
	6(日)	成人式 小松八幡春季例大祭
	7(月)	小中学校入学式(各小学校) 利根商業高等学校入学式
	8(火)	幼稚園入園式(月夜野北・にいはる)
	9(水)	幼稚園入園式(下牧・月夜野)
	10(木)	若栗幼稚園入園式 議会だより編集委員会
	11(金)	広域圏議員協議会 広域圏定例議長会 地域機関所属長等歓送迎会 体育協会総会 教職員離任式
	12(土)	平成20年度全国都市緑化祭
16(水)	婦人会総会	
17(木)	道路特定財源促進期成同盟会緊急全国大会 高原千葉村協力会定例総会	
20(日)	NHK杯カヌースラローム競技大会 北向観音春季大祭	
22(火)	議会運営委員会	
23(水)	利根沼田公衆衛生協会新治支部総会	
25(金)	春季ゲートボール大会 R291号整備期成同盟会設立総会	
28(月)	利根川遊歩道開通式	

議会を傍聴してみませんか？

◆6月の定例会は、12～20日を予定しております。

—お問い合わせは— 議会事務局まで ☎ 62-2111(内線 611)





戦国の世を今に伝える名胡桃城址

文化財調査委員 渋谷 浩 (後 閑)

名胡桃城址の先端にある「ささ郭」に立つと、南に赤城山、そして沼田台地上の沼田城址、東に三峰山、明徳寺城址を望み、北に谷川連山が見られます。台地の下は利根川と赤谷川の合流点でもあります。天正十七年(四一九九年)、秀吉の仲介により、



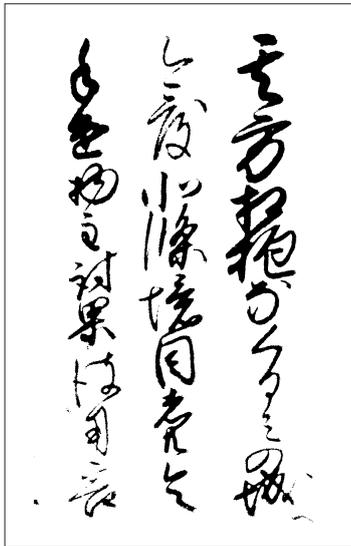
城址の本丸に建てられている「名胡桃城址の碑」。碑文は徳富蘇峰の書です。碑の高さ310センチ。大正15年に建立されました。

真田氏が支配していた沼田城を含む利根川の東と赤谷川の左岸を限って、小田原の北条氏の領有と決まりました。そして真田昌幸は、利根川の西部を領有する事になったのです。真田氏から北条氏に引き渡された沼田城には、北条氏の家臣、猪俣能登守邦憲が城代として入城

しました。名胡桃城には、真田方の鈴木主水重則が入りました。沼田城と名胡桃城は直線にして四キロ余、このまま時が過ぎれば、関東に強大な勢力を持つていた北条氏も存続していたかもしれませぬ。沼田領の分割が決まった天正十七年の

秋、沼田城代猪俣邦憲は名胡桃城を不法に攻略したため、名胡桃城代鈴木主水は無念のあまり沼田の正覚寺において自刃したと伝えられています。北条氏の名胡桃城の不法攻略は昌幸より秀吉に訴えられましたが、北条氏は、その事は一切関知していない事で猪俣自身身の存念で行った事だと弁解したのです。しかしこの事件が直接

の原因となつて、天正十八年二月の秀吉の小田原攻めが開始され、五ヶ月後の七月五日、五代百年にわたつて関東に君臨した北条氏は、ついに滅亡しました。日本の歴史の流れを変えたこの城址を後世に残し伝えようと、故人とされた内海文之助・高橋茂三郎両氏によつて大正十三年「名胡桃城址保存会」が設立され、現在も保存会の人たちによつて整備され守られているのです。



天正17年11月21日名胡桃城事件の直後、秀吉より真田昌幸に宛てた書状(部分)「其方相抱なくるみの城へ今度北条境目の者共手遣いせしめ物主討ち果し(以下略)」(長野市松代町真田宝物館 蔵)



時は春、別れもあるが多くの出会いもある季節です。

三月定例議会では一二五億五千万円の平成二十一年度一般会計当初予算や、十一の特別会計予算および各議案の議決が行われました。

また、今議会ではまちづくり基本条例を委員会発議として提出し、議決いたしました。

この条例はまちづくりの基本理念や町政運営のルールを明文化したものです。

議会としても、町民とともにこの条例を生かし反映させ、夢の持てるまちづくりに努めて行きたいものです。

森下 直